

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

<p>後援会会長・学部長等挨拶 1</p> <p>卒業式 2</p> <p>入学式・歓迎の辞 3</p> <p>入学状況 4</p> <p>大学紹介 4～7</p> <p>学生活動だより 7</p>	<p>就職活動と支援・就職状況 8～9</p> <p>進学先・就職先一覧（経済学部） . 10～11</p> <p>資格取得等報奨制度 12</p> <p>平成29年度決算・後援会総会 13</p> <p>平成30年度予算・役員名簿 14</p> <p>平成30年度学年暦・行事 15～16</p>
---	---

会長挨拶

後援会会長 戸田 茂



戸田後援会会長

大学時代にこそ、先生方・友人・家族・書籍を通して、正しいものの見方・考え方を整えていただきたいと思います。併せて、「自立」の為の大切な時期でもあります。これは、ご家族が学生諸君の意思を尊重し、信頼することから始まるのでしよう。

家族が、自分を信じてくれていると確信できることは、学生自身のエネルギーの源になることでしよう。常に、学生との距離を意識的に且つ適切にとり、家族の機微を感じ取り、「絆」を確認ください。そして、学生諸君が、彦根での生活を、自信をもって振り返ることができるよう祈念いたします。

経済学部長挨拶

田中英明

昨年度まで入試・高大接続担当の副学長を務めておりました。新聞等ではセンター試験への記述式問題の導入や英語の民間資格試験の活用が大きく報道されていますが、現在進行中の入試改革は、高校と大学の教育内容の改革と連動・一体となった高大接続改革をうたったものです。そこで求められている主体性や課題

解決力といった、明日の社会を切り拓いていく知力・学力の涵養こそ、まさに本学部がめざし、得意としてきたところ。先輩たちが築き上げてきたこの強みや特長をさらに磨き上げるべく努める所存です。後援会の皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

データサイエンス学部長挨拶

竹村彰通

データサイエンス学部は2年目となり、新たに108名の2期生を迎えることができました。データサイエンス学部は企業連携などさまざまな社会連携活動を進めており、それが報道されることで、学部の知名度もかなりあがって来ました。来年の4月には大学院修士課程を開設予定です。これも日本初となります。このような活動を学部生の教育にもいかして社会で活躍できるデータサイエンティストを育てていきたいと思っております。

経済学部副学部長挨拶

総務・企画担当 村松郁夫

本年度より、学部の将来構想、カリキュラム運営、学習支援体制の強化などに携わります。社会のニーズに合わせた変化が求められている大学及び学部の将来像を探り、伝統を踏まえつつ新たな学部への進化を図ります。経済学部で学ぶ学生が、時代にあった、そして、より高度な専

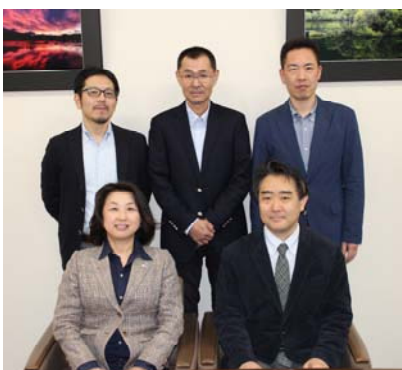
門性を習得できるよう努力いたします。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学務・学生生活担当 宗野隆俊

副学部長に就任し、いまさらながら、学務・学生生活に関わる業務の重みを知りました。多くの教職員が大学運営に携わっていますが、学生・院生こそ最重要のメンバーであることを忘れないよう、心がけておられます。十年後、二十年後の彼ら・彼女らに、「滋賀大学で学んだからこそ今の自分がある」と思ってもらえる環境を整えたいと思います。

入試・広報担当 岡本哲弥

入試・広報担当として、入試制度改革および広報に関する職務を中心に担当致します。周知の通り、平成33年度入試より、現行のセンター試験は共通テストへと移行します。こうした変化に対応しつつ、将来性の



後列 宗野 松村 岡本 各副学部長
前列 山田副研究科長 田中 学部長

ある多様な学生の獲得に向けまして、AO入試の導入や推薦・一般入試の見直しを進めて参ります。ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

大学院経済学研究科 副研究科長挨拶 山田和代

大学院では、学生と教員が共に学問探求を思う存分にできることが理想と考えます。学生には知識の修得と合わせてそのアウトプットの機会を活かしてもらいたいです。また、議論や学際的交流を通じて研究の醍醐味を知ってもらいたい。微力ながらそれらの環境づくりに努めてまいります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

データサイエンス学部 副学部長挨拶

総務・企画担当 高田 聖治

データサイエンス学部の総務・企画担当として、昨年度に引き続き、学部の教育・研究全体を担当いたします。経済学部・教育学部との連携をさらに強化するとともに、企業等と協力した様々な研修の機会の提供、大学院設置に向けた準備等により、これまで以上に充実した教育を推進してまいりますので、引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学務・学生生活担当 齋藤 邦彦

昨年に引き続き、学部学生の教務事項と学生生活に関するサポートを担当致します。データサイエンス学部は2年目に入り、講義や定期試験などある程度の経験が積みまれました。学生からは学ぶ場をより一層充実してほしいといった要望があります。後援会の皆様には、教育や学生指導に対してご理解をよろしくお願い申し上げます。

入試・広報担当 笛田 薫

データサイエンス学部の入試・広報を担当して2年目になります。昨年度は新学部発足ということもあり、滋賀大学がマスコミで報じられることも多かったように感じています。今年度はその知名度の高まりを活かし、より優秀な受験生が集まるよう、入試・広報担当としてさらに



後列 笛田 齋藤 各副学部長
前列 高田副学部長 竹村学部長

励む所存です。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

平成29年度卒業式

平成29年度滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を3月23日午前10時から、ひこね市文化プラザで挙行了いたしました。



式辞を述べる位田学長

平成29年度は、教育学部238名、経済学部529名、大学院教育学研究科52名、大学院経済学研究科25名、専攻科10名の合計854名が本学を巣立ちました。位田学長からの学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へのはな



学長賞表彰を受ける吉村さん

むけの言葉が贈られたのに続いて、在校生を代表して経済学部3回生の林美波さんからお祝いと感謝の言葉、また、卒業生を代表して教育学部卒業生の井狩翔太さんから「本学での学びを糧に、自分の信念を貫き、人とのつながりを大切にし、主体的に行動することで自分自身の未来を切り拓き、社会に貢献していくことを誓います」との決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。

引き続き、学業成績優秀者学長賞表彰が行われ、教育学部と経済学部において、在学期間中に最も優れた学業成績を挙げた教育学部卒業生の瀧澤紗知子さんと経済学部卒業生の吉村早央さんの2名に、位田学長から表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果を称えました。



平成30年度滋賀大学入学式を4月4日午後1時から大津市のびわ湖ホールにおいて、挙行いたしました。

教育学部244名、経済学部485名、データサイエンス学部108名、大学院教育学研究科59名(うち専門職学位課程20名)、大学院経済学研究科26名(うち博士後期課程1名)、特別支援教育専攻科11名の総計933名が、学生生活の新しいスタートを切りました。



式辞を述べる学長

式典では、学歌斉唱の後、入学生を代表して教育学部の生駒也実さんが宣誓を行い、「学則を守り学生の本分を尽くすこと」を誓いました。続いて位田学長から「SはSincere(誠実)、HはHumanistic(人間性)、IはIntelligent(叡智)、

GはGenerous(寛容)、AはActive(積極性)、そしてUniversityのUはUnion(団結)でもあります。皆さん一人一人が、誠実で、人間性にあふれ、叡智を持って行動し、他者や弱者に対して寛容であり、みんなと一緒に団結して平和で安寧な世界「Triumph」を作り上げていくところ、それが滋賀大学です」と式辞がありました。

続いて、来賓を代表して教育学部同窓会の南出儀一郎会長から祝辞があり、その後、在学生を代表して経済学部4回生の樋ノ内健吾さんから歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。

歓迎の辞

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。そして、入学式にご臨席くださいましたご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

滋賀大学は、経済学部・データサイエンス学部を擁する湖東・彦根キャンパスと、教育学部を擁する湖南・大津キャンパス、二つのキャンパスから成り立っています。いずれのキャンパスも日本最古で最大の湖である雄大な琵琶湖のほとりにあり、大変美しく過ごしやすい環境にあります。このような恵まれた環境の中で、伸び伸びと自分自身を高めていってください。さて、大学生として新たなスター

ト地点に立っている皆さんは、今どのような気持ちでこの時を迎えているでしょうか。希望、期待、不安、焦りなど色々思っていることがあると思います。そんな皆さんに大学生活において、意識して欲しいことと、身につけて欲しいことがそれぞれ一つずつあります。

まず意識して欲しい事、それは「挑戦し続けること」です。「挑戦し続ける」とは「目標を持ち続け、それを達成しようとする」ということです。私が三年間この大学において、実感したことですが、この大学には可能性があふれています。まずは自分が四年後にどんな人物になりたいか想像してみましよう。次に、そうなるためには何が必要なのかを考え、それを目標とし、主体的に行動していきましょう。そして、その上で最も重要なことですが、その目標を常に意識するように心掛けて下さい。そうすればきっと自分自身の限界に挑戦でき、大きく成長できる四年間になるでしょう。次に身につけて欲しい事、それは



歓迎の辞を述べる樋ノ内さん

「論理的な思考力」です。「論理的な思考力」とは、物事の構造を把握し、筋道を立てて考えられる能力のことです。これを身につけるメリット、それは、自分の行動や判断に明確な根拠を得られる、また、それを通じて自分の意見を主張する際に相手を説得しやすくなる、など数多く存在します。さて、では一体どうやって身につければよいでしょうか。方法は簡単です。あらゆる物事に対して「なぜそうなのか」「だからどうなのか」と考える癖をつけましょう。考えられるなら、一つの物事に対して、たくさん考えて下さい。そうすれば、物事の本質を捉えられるようになり、より論理的な思考力を身につけられるでしょう。

以上二つ、「挑戦し続けること」を意識し、「論理的な思考力」をもって、四年間の学生生活を満ちあるものにして下さい。今この瞬間から皆さんは滋賀大生になりました。この入学式が終わり、会場の外に出れば、そこには今まで経験したことのない刺激に満ちた、新しい世界が皆さんを待っているでしょう。受け身になるのではなく、自ら進んで多くのことに挑戦していきましょう。そして、滋賀大生として、大学の伝統を受け継ぎ、私たちと新しい時代を切り開いていきましょう。新入生の皆さんのこれからのご活躍を期待しています。

平成30年4月4日
在校生代表
経済学部 樋ノ内 健吾



経済学部の現況

経済学部長 田中英明

新設のデータサイエンス学部と、経済学部の新たなカリキュラムが2年目を迎え、彦根キャンパスの雰囲気もそこはかとなく変わってきたようです。

経済学部は、様々な専門分野をフィールドとする多数の教員を有するという特徴を活かした教育プログラムを展開しています。経済学や簿記会計、統計学、社会経済史など、どの学科の学びにとっても基盤となる学部共通のコア科目と、標準的な経済学部の倍以上もの科目群から自由に選択する専門科目によって、関連分野を含めた総合的・多角的な知識を身につけ、教員それぞれが個性的に展開する専門演習(ゼミナール)でアクティブに「グループワーク」で実践的に、あるいは深く静かに知の世界に潜って「問題探究能力やコミュニケーション能力を磨いていきます」。

こうした学科を越えた自由で柔軟な教育体制のもとで、希望する進路に結びつく専門性の獲得を促進するために、これまでも学科を基盤としつつ学科横断的に編成された履修モ

平成30年度 入学状況

入学試験状況（経済学部・大学院経済学研究科）

区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
昼間主	410	2,962	1,886	509	416
夜間主	50	180	164	84	51
3年次編入	20	119	90	37	18
計	480	3,261	2,140	630	485

前期課程	42	58	52	29	25
後期課程	6	2	2	1	1
計	48	60	54	30	26

滋賀大学入学者一覧

経済学部	485
大学院 経済学研究科	26
前期課程	25
後期課程	1
データサイエンス学部	108
教育学部	244
大学院 教育学研究科	39
修士課程	39
教職大学院	20
特別支援教育専攻科	11
入学者合計	933

都道府県別入学者数（経済学部（3年次編入は除く））

北海道	1	0.2%	岐阜県	44	9.4%	鳥取県	3	0.6%	長崎県	2	0.4%
青森県	1	0.2%	静岡県	10	2.1%	島根県	4	0.9%	熊本県	1	0.2%
群馬県	1	0.2%	愛知県	78	16.7%	岡山県	9	1.9%	宮崎県	2	0.4%
東京都	4	0.9%	三重県	16	3.4%	広島県	3	0.6%	鹿児島県	1	0.2%
神奈川県	1	0.2%	滋賀県	63	13.5%	山口県	1	0.2%	留学生	11	2.4%
新潟県	2	0.4%	京都府	61	13.1%	徳島県	2	0.4%	その他	1	0.2%
富山県	2	0.4%	大阪府	50	10.7%	香川県	2	0.4%			
石川県	5	1.1%	兵庫県	46	9.9%	愛媛県	2	0.4%			
福井県	10	2.1%	奈良県	17	3.6%	高知県	1	0.2%			
山梨県	1	0.2%	和歌山県	5	1.1%	福岡県	4	0.9%	合計	467	100.0%

入学試験状況（データサイエンス学部）

	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
計	100	330	237	116	108

都道府県別入学者数（データサイエンス学部）

茨城県	1	0.9%	福井県	1	0.9%	大阪府	9	8.3%	香川県	4	3.7%
埼玉県	2	1.9%	山梨県	1	0.9%	兵庫県	11	10.2%	愛媛県	1	0.9%
千葉県	1	0.9%	岐阜県	9	8.3%	奈良県	3	2.8%	福岡県	1	0.9%
神奈川県	1	0.9%	静岡県	4	3.7%	和歌山県	2	1.9%	宮崎県	2	1.9%
新潟県	1	0.9%	愛知県	7	6.5%	鳥取県	1	0.9%	沖縄県	2	1.9%
富山県	1	0.9%	滋賀県	24	22.2%	岡山県	1	0.9%	その他	1	0.9%
石川県	1	0.9%	京都府	14	13.0%	広島県	2	1.9%	合計	108	100.0%

デルである「学習類型」を提示してきました。今回のカリキュラム改革によって、昨春の新入生からは少なくとも一つの学習類型を修得することが卒業の要件となっています。そのため、第4セミスター（2回生の秋学期）に、専門演習とともに学習類型の選択によって、卒業までに学びたいこと、身につけたい能力を明確にすることが求められます。

経済学部生はみな入学の際にいずれかの学科に所属している訳ですが、これからの社会で求められる高い専門能力や主体性の修得のためには、入学後の学習や様々な体験を通じて、あらためて将来の進路を見据えつつ、自らの学ぶべき専門性が何なのかに主体的に向き合っておくことが重要だからです。

本学や経済学部が力をいれているのも、学生に様々な刺激や体験を与えるための仕掛けを広く用意し、明確な目標をもった学生にはさらに深く学ぶ機会を提供することです。

本学は、アジア諸国はもとより、最近ではフランスやイギリスなど欧州の大学とも新たに交流協定を結び、交換留学や研修先を広げています。また、協定校からの留学や研修も含めた留学生の受け入れによって、キャンパスでの国際交流の機会も増えていきます。経済学部では昨秋から英語で学ぶ専門科目を設けました。一年に10科目程度を開講していま



プロジェクト科目
(彦根市議会との連携)

後援会の資格取得等報奨制度の支援もあって、語学検定や資格取得へのチャレンジも活発になっていきます。留学や海外インターシップなどに挑戦するためには、早期から語学力を積み上げておかなければなりません。滋賀大生ならばスマホやパソコンで「いつでも・どこでも」無料で本格的に自主学習できる「英語eラーニングシステム」を利用できますが、経済学部ではさらに夏季休暇中のTOEIC対策講座なども用意しています。

「高度専門人材育成プロジェクト」は、専門演習や専門科目に、補習講座や学生サークルの活動等を組み合わせ、証券アナリスト試験などで全国トップレベルの成果を出してきましたが、経営や会計分野にも対象を広げ、資格取得を学習の目安として利用してより高度な専門性への到達を図るといふ人材育成の先進的

モデルを築いていきます。

「地域連携教育推進室」は、市議会や商工会議所、地元老舗企業等との連携や、様々な現場での経験によって、現実の問題に実践的に取り組むプロジェクト科目を企画・運営し、ボランティア活動の紹介も行っています。

「陵水学習教育支援室」と「開放型学習スペース」は、SAやTAといった制度も利用しながら、連日熱心に学びあい語り合う学生達で賑わっています。

データサイエンス学部の協力によって、経済学部の学習類型に加え、副専攻としてデータサイエンスを学ぶ発展的学習プログラム（「政策・ビジネス革新創出人材プログラム」）も設けました。

こうして彦根という美しく静かな街の小さなキャンパスで、しかし学生達は活発に、積極果敢に、時に騒然と活動し、広く世界へ飛び出していています。

雑誌の就職ランキング特集等で見られるように、経済学部の就職状況には従来から定評がありますが、近年は総合商社等のグローバル職や国家公務員総合職など、活躍の幅も広がっています。志願倍率や入試難易度などの状況も好調です。

ただ、国家財政の逼迫と少子化の進行の下、国立大学、とりわけ人文・社会科学系学部を取り巻く状況は厳しさを増しています。本学部も

補充もままならない中、教職員の努力とやり繰りで教育・研究の水準を保ち質の向上を図っており、なかなか苦しい状態にあります。とは言え、社会からの高い評価は、国からの保護というより、学生達自身の頑張り、と、家族、卒業生、教職員、そして地域社会による支えの賜。これからのオール滋賀大、オール経済学部の連携と協力によってこそ、活路を開いていけるものと信じております。



プロジェクト科目
(彦根商工会議所との連携)

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

竹村 彰通

データサイエンス学部発足から1年、まずは大過なく順調な船出を飾ることができたと思えます。この間にご協力をいただいた後援会の皆

様、ご父兄の皆様にはあらためてお礼申し上げます。データサイエンス学部は我が国初のデータサイエンス学部ということで各方面からの注目も大きく、学生さんにも新聞やテレビからの取材が数多くありました。データサイエンス学部の教員に対する講演依頼なども多く、教員は講演でデータサイエンスの重要性や滋賀大データサイエンスのアピールをしました。政府の会議や報告書でも滋賀大の取組が先進的な事例として紹介されました。

ただ、そのようなご祝儀相場はそろそろ終わりで、これからはデータサイエンス学部の真価が問われる場面だと思っています。これまででは滋賀大が我が国唯一のデータサイエンス学部でしたが、この4月には横浜市立大学に2番目のデータサイエンス学部が設立されました。我々の業界は狭い世界ですので、横浜市立大学のスタッフもほとんどが知り合いです。今後はお互いの特色を生かしつつ切磋琢磨して我が国のデータサイエンスを盛り上げていかななくてはなりません、

1年間を終わって、私共教員にとつてうれしいニュースもありました。時に残念なニュースもありました。うれしいこととしては、データサイエンス学部が一般的には高い評価を受け、外部から来られる他大学や企業の方から「学生の意欲が非常に高いですね」とお褒めの言葉をいただく



グループ演習風景

くこと、授業の中ではグループ演習を通じて学生間の連帯意識が強まったこと、日本統計学会のスポーツ統計分科会というところの学生コンペティションに学生グループが参加して奨励賞を受賞したこと、そして何より大きな事故もなく1年を終えることができたこと、があげられます。

一方、残念なこととしては、欠席が多い学生が何人か見受けられること、また成績がやや不振な学生が出てきたということがあります。大学生は自己責任で勉学に励むべきですので、欠席しがちな学生にどこまでコミットすべきかという問題はあります。データサイエンス学部生には先輩がいらないという特殊な事情であり、私共もできるだけフォローして

いかなくはならないと考えています。大学に入って親元を離れた生活をしていく学生もいますし、体調を崩して保健管理センターに相談に行っている学生もいますが、私共としては保健管理センターとも連携して対処していきたいと考えています。授業については、何人かの学生から特に数学で苦労している話も聞いており、現在6人いる助教を含めて、授業時間外でも数学の学習の相談に乗っております。

1回生の必修の授業の単位を落とす学生も出ていますが、1回生の必修の授業と2回生の必修の授業では授業時間が重ならないようにしていますので、1回生の必修の単位を落としても2回生の必修の単位を落とすことができます。ですから、1回生の必修の授業で不可をもらったからといって、本人の頑張り次第できちんと4年で卒業できるようになっています。現在活躍している現役のデータサイエンティストの方々に「大学でやっておいた方が良かったな」と思うことは何ですか」とお聞きすると、皆さん「数学の勉強をしっかりやっておくこと」と言われます。学生の皆さんにも父兄の皆さんにも、基礎の重要性は是非理解していただきたいと思っています。データサイエンス学部のカリキュラムは先進的なものでありますが、それらの内容を深く理解するためにはしっかりした基礎が必要となります。



授業風景

一つ明るい話題として、今年の夏休みから企業のインターンシップを開始する予定です。我々の共同研究のパートナーである三井住友フィナンシャル・グループが夏休みに3週間学生を受け入れてくれることになりました。1か月間は東京でホテル住まいということになりますが、その間の宿泊費や交通費、アルバイト代も支給してくれるという大変魅力的なインターンシップです。ただ受入れが2人ということですので、成績や面接で選抜をおこないます。私共としては、三井住友フィナンシャル・グループ以外にも、このような貴重なインターンシップを開拓していきたいと考えています。

データサイエンス学部にとって次の重要な目標は来年4月の大学院修士課程の設置です。3月末に文部科

学省に正式に認可申請を出すことができ、来年4月の設置がほぼ確実となってきました。定員は20名です。まだ卒業生が出ない段階での早期設置ですので、この修士課程にはいつて来るのは、まずは企業からの派遣が中心になります。すでに多くの企業と派遣について交渉しています。この大学院へは企業が将来のデータサイエンティストとして囑望する優秀な社員を選抜して派遣し、彼らの成績表は企業にも送られますから、派遣された方達は本当に真剣に勉強します。先輩がいなかったデータサイエンス学部1期生に大きな刺激になると期待しています。なお1期生が卒業する時には、大学院の定員はそれにあわせて増やすこととしております。



学生自主企画プロジェクト成果報告会を開催しました

平成30年2月28日(水) 経済学部第14講義室(テレビ会議システム)



学生自主企画プロジェクト採択団体のポスターセッション

ム：教育学部講義棟第35講義室)において、平成29年度学生自主企画プロジェクト成果報告会を開催し、両学部の学生及び教職員が多数参加しました。

この報告会は、ボランティア・地域貢献・キャンパス改善など学生の独創的かつ意欲的な活動の成果を報告する場です。今年度は「未来への食農教育」「国際交流のための体験学習」「滋賀エコプロジェクト」「WU+留学生 By GNS」など合わせて13団体から報告があり、参加者との活発な質疑応答が行われました。審査の結果、優秀なプロジェクトには、経済学部の「滋賀大ラジオプロジェクト」と「カモンちゃんプロジェクト2017」の2団体が選ばれ、喜名理事から副賞が贈られました。

滋賀大学学長賞について

平成30年3月29日(木)に滋賀



学長を囲む受賞者達

大学学長賞授与式が行われました。滋賀大学学長賞とは、①「極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生」、②「課外活動や、文化・社会活動などで特に顕著な成果・功績のあった学生・団体」を表彰するものです。

授与式では、喜名副学長より選考結果の概要について説明があり、位田学長から受賞者に表彰状と楯、副賞が授与されました。いずれも滋賀大学の名誉を大いに高めた功績を称えられました。

各受賞団体等と受賞理由については以下のとおりです。(彦根キャンパスの学生関係のみ)

- チアダンス部
- 第17回全日本チアダンス選手権 関西予選大会のPOM部門大学生編成において第1位
- 弓道部
- 第55回近畿地区国立体育大会弓道競技の男子の部において優勝

開学祭を開催しました

放送研究会
第34回NHK全国大学放送コンテスト 映像CM部門において第1位

平成30年4月14日(土)に「平成30年度滋賀大学開学祭」が彦根キャンパスで開催されました。



よさこいサークル花による演舞

今年度の開学祭では「シン・カイガクサイ」というビジョンを掲げ、新入生にとってこれから体験する目新しいさいっぱいキャンパスライフが良いものになってほしいという思いを込めて開催されました。

当日は、学生だけでなく地域の方たちに来校いただき、学生等が催すステージ企画、模擬店、クラブ・サークルの教室展示並びにフリーマーケットなど様々な企画に参加され、大いに賑わった一日となりました。

就職活動と支援

就職支援について

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹

後援会の皆様におかれましては、平素より経済学部の支援活動に多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

様々なメディアを通して「空前の売り手市場」「極端な人手不足」など言われておりますが、実際の現場では学生が就職を希望する業界、職種においては買い手優位の傾向となってきました。企業側と学生側の思いのミスマッチにより、企業も不満足、学生も不満足というのが現状であります。このミスマッチを最小化し、全ての学生が希望する仕事に就けることを目標として参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

データサイエンス学部について

昨年4月より新たにスタートしたデータサイエンス学部では教員の熱い指導の下に学生がプロフェショナルとしても基礎を固めつつあります。情報学と統計学の双方に習熟し、データから価値創造のできるデータサイエンティストを目指して様々なプログラムにチャレンジして

おります。これからの成長が楽しみです。あります。

*データサイエンス学部を卒業後の就職先について

ICT進化によってさまざまな領域で大規模データが集積されています。この大規模データを分析・解析したりするための専門知識とスキル（データアナリシス）、またこの大規模データを加工・研磨・処理するための専門知識とスキル（データエンジニアリング）を用いてデータから価値を引き出す力をつけることができます。そのようなスキルを備えた学生は次のような進路が想定されます。

- 情報通信、情報技術開発
 - 官公庁・地方自治体（統計課、都市計画課、観光課等）
 - 大手メーカーでの統計分析、情報解析部門
 - 銀行、証券会社、保険会社等の金融機関
 - 企業の財務経理、経営企画、マーケティング、生産管理等の諸部門
 - 製薬、医療機関、臨床検査機関
 - 経営コンサルティング、ファイナンシャルプランナー
 - 研究者への道（大学院進学、データサイエンス、その他の諸分野）
- これらの企業からは共同研究、長期インターンシップの受け入れなど様々な提案を頂いており、産学連携体制が整いつつあります。この体制

を益々強化して世の中のニーズに合った人材育成を進めて参ります。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教官、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

① 滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCCESS : Shiga University's Campus Computer Education Support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。今後はこの機



求人情報提供システム (トップページ)

能を拡大させ、個々の学生とのコミュニケーションツールとして拡大させて参ります。

② 彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス求人情報提供システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報などを提供します。またこのシステムを利用してインターンシップ募集情報も提供しております。

③ 就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時から17時まで受け付けています。主な相談内容は、

- 進路選択についての相談
 - 個人面接、集団面接の模擬訓練
 - エントリーシート、履歴書の添削
- などです。時間内であれば予約なしで対応しております。昨年度は619名(前年比+162名)の学生から1,249件(前年比+114件)の相談がありました。

④ 就職支援室での情報提供

- 企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供いたします。
- OB/OG訪問のための情報提供を提供しています。
- 進路決定者からの「進路報告書」を集約して後輩たちの活動に活用して

います。

●就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等が自由に閲覧できます

●大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。

●公務員、大学院、税理士等専門職に関する情報を提供しています。

●室内のパソコン（4台）を自由に利用でき、自発的な情報収集をサポートします。

⑤ 1回生から3回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラム

これらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

本学卒業生による就職支援体制

本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、次のような支援が準備されています。

① 学内合同企業説明会

本年は3月に実施し、卒業生が就職をしてお世話になっていている企業で、有名大手企業を中心に191社がご参加くださいました。

② 陵水懇話会

卒業後25年の先輩たち10数名にお見えいただき、業界紹介を中心に働くということにつき、いろいろと懇談してもらいます。昨年は約200名の学生が参加しました。

③ 陵水若手卒業生による就活相談会

陵水懇話会と比較してより学生に近い年代の先輩たちが自主的に運営してくれている相談会です。卒業後10年未満の先輩たち十数名が出席され、学生たちも毎回50名程度が参加しています。年2回開催です。学生は若手社会人ならではの本音の話しを聞くことができます。

④ 陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生の公認会計士と税理士を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

⑤ 女子学生のための陵水OGキャリアガイダンス

女性の働く力が大いに求められる時代になって参りました。働くOG



陵水懇話会

と女子学生による女性同士ならではの懇談会により、働く女性のロールモデル形成に努めています。

これら以外にも様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの90余年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍していますが、官公庁・教育界・学界へも進出しています。

就職状況

平成29年度就職状況

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹

平成29年度の就職状況について

経済学部の就職決定率は一昨年（97.4%）を1.9ポイント上回る99.3%。

*就職決定率

＝就職決定者／就職希望者

業種別就職先割合では、製造業19.7%、金融業22.4%、情報通信業10.8%とこの3業種で約半数を占めております。続いて、官公庁、卸売業、保険業となっております。

す。

企業規模別では、大企業への就職率が6割強と大企業志向は伝統的に変わらないといえます。大企業に絞った就職活動によって思うような成果を得られない学生が長期間に亘って就職活動を強いられることも起こっております。

平成30年度の就職戦線について

企業の採用活動開始時期は昨年同様、企業の採用広報開始は3回生の3月から、選考開始は4回生の6月から、内定は10月と定められています。その理由は次の通りです。

- ◇ 学生が落ち着いて学業等に専念できる学修時間の確保
- ◇ 留学する学生の帰国時期に選考を合わせることにによる留学の促進
- ◇ インターンシップ等キャリア教育の早期実施

これらの予定に基づいて就職活動が行われます。

今年度の状況は外資系企業と一部国内企業などが就職協定とは違うスケジュールで採用活動をおこなっており、学生の就職活動期間が長期化しております。またインターンシップが本来の目的ではなく、採用活動の手段として実施されるようになり、学生が振り回されているところがあります。就職支援室では情報の整理と的確な学生への働きかけにより学生の希望の進路に導いて参ります。

会社名	計	男	女
114 ㈱エヌテック	1	1	1
115 黒崎播磨㈱	1	1	1
116 新江州㈱	1	1	1
117 タカスタンダード㈱	1	1	1
118 東海カーボン㈱	1	1	1
119 ニチアス㈱	1	1	1
120 日本アイ・ティ・エフ㈱	1	1	1
121 日本特殊陶業㈱	1	1	1
122 レンゴー㈱	1	1	1
光熱水業			
123 関西電力㈱	2	1	1
124 中国電力㈱	1	1	1
125 広島ガス㈱	1	1	1
情報通信業			
126 ㈱アイ・アイ・エム	1	1	1
127 アイエックス・ナレッジ㈱	1	1	1
128 ㈱アイスタイル	1	1	1
129 アビームシステムズ㈱	1	1	1
130 ㈱イーアンドティー	1	1	1
131 ㈱インテックソリューションパワー	1	1	1
132 ㈱ウエスト	1	1	1
133 ARアドバンステクノロジー㈱	1	1	1
134 SCSK㈱	1	1	1
135 NECソリューションイノベータ㈱	1	1	1
136 ㈱NSD	1	1	1
137 ㈱NTTデータグローバルソリューションズ	1	1	1
138 ㈱NTTドコモ	1	1	1
139 ㈱大塚商会	1	1	1
140 兼松エレクトロニクス㈱	1	1	1
141 かんぼシステムソリューションズ㈱	1	1	1
142 京セラコミュニケーションシステム㈱	1	1	1
143 ㈱クレアンスメアード	1	1	1
144 ㈱クロスフィールド	1	1	1
145 ㈱K-BIT	1	1	1
146 ㈱ゲームスタジオ	1	1	1
147 ㈱ゴーリスト	1	1	1
148 コムテックス㈱	1	1	1
149 サイボウズ㈱	1	1	1
150 ㈱GA technologies	1	1	1
151 シーティーシー・エスピー㈱	1	1	1
152 ㈱滋賀富士通ソフトウェア	1	1	1
153 ㈱シナプスインベーション	1	1	1
154 スミセイ情報システム㈱	4	4	4
155 ㈱セールスフォース・ドットコム	1	1	1
156 ㈱ソフトサービス	1	1	1
157 タック㈱	1	1	1
158 ㈱中電シーティーアイ	1	1	1
159 ㈱中日新聞社	1	1	1
160 中部テレコミュニケーション㈱	2	2	2
161 東邦ガス情報システム㈱	1	1	1
162 ナビオコンピュータ㈱	1	1	1
163 ㈱ニッセイコム	1	1	1
164 ㈱日本トータル・システム	1	1	1
165 ㈱ハイ・アベイラビリティ・システムズ	1	1	1
166 ㈱ハイマックス	1	1	1
167 パナソニックインフォメーションシステムズ㈱	1	1	1
168 富士ソフト㈱	1	1	1
169 ㈱富士通エフサス	1	1	1
170 ㈱富士通ソフトウェアテクノロジーズ	2	1	1
171 丸紅ITソリューションズ㈱	1	1	1
172 ㈱ラクス	1	1	1
173 ㈱ランドック・スタジオ	1	1	1
174 ㈱リアルキャスト	1	1	1
175 ㈱栗菱コンピューターズ	1	1	1
運輸業、郵便業			
176 大阪モノレールサービス㈱	1	1	1
177 カリツ一㈱	1	1	1
178 ㈱住友倉庫	1	1	1
179 三濃ジェンカー㈱	1	1	1
180 東陽倉庫㈱	1	1	1
181 中日本航空㈱	1	1	1
182 ㈱ホームロジスティクス	1	1	1
183 丸全昭和運輸㈱	1	1	1
184 三菱倉庫㈱	1	1	1
卸売業			
185 アズワン㈱	1	1	1
186 あっさんぶらーじゅ合同会社	1	1	1
187 伊藤忠商事㈱	1	1	1
188 ㈱ENEOSウイング	1	1	1

会社名	計	男	女
42 フタムラ化学㈱	1	1	1
43 フマキラー㈱	1	1	1
44 ユケン工業㈱	1	1	1
45 ㈱陽進堂	1	1	1
46 和信化学工業㈱	1	1	1
製造(鉄鋼・非鉄金属等)			
47 ㈱イマオコーポレーション	1	1	1
48 ㈱OKM	1	1	1
49 ㈱オング製作所	1	1	1
50 ㈱ゴーシュー	1	1	1
51 ㈱神戸製鋼所	1	1	1
52 サンコール㈱	1	1	1
53 住友電気工業㈱	1	1	1
54 東プレ㈱	1	1	1
55 東洋アルミニウム㈱	2	1	1
56 日鉄住金SGワイヤ㈱	1	1	1
57 能勢鋼材㈱	1	1	1
58 日立金属㈱	1	1	1
59 古河AS㈱	1	1	1
60 ホッカンホールディングス㈱	1	1	1
61 マルホ発條工業㈱	1	1	1
製造(はん用・業務用)			
62 ㈱アマダホールディングス	1	1	1
63 ㈱インダ	2	1	2
64 オークマ㈱	1	1	1
65 ㈱小森コーポレーション	1	1	1
66 ㈱ジェイテクト	1	1	1
67 ㈱JIMRO	2	1	2
68 新東工業㈱	1	1	1
69 住友重機械工業㈱	1	1	1
70 DMG森精機㈱	3	2	1
71 東海光学㈱	1	1	1
72 東レエンジニアリング㈱	1	1	1
73 豊田バンモップス㈱	1	1	1
74 ㈱西島製作所	1	1	1
75 ナプテスコ㈱	1	1	1
76 ニプロ㈱	1	1	1
77 日本電産シンボ㈱	1	1	1
78 ㈱浜名ワークス	1	1	1
79 ㈱フジキン	1	1	1
80 フジテック㈱	2	1	1
81 ㈱堀場エステック	1	1	1
82 村田機械㈱	2	2	2
製造(電子部品等)			
83 ㈱キーエンス	1	1	1
84 ㈱タムラ製作所	1	1	1
85 ニテコン㈱	1	1	1
製造(電気・情報通信)			
85 アケボノ特機㈱	1	1	1
86 ㈱イマック	1	1	1
87 ㈱GSユアサ	1	1	1
88 ㈱SCREENホールディングス	1	1	1
89 セイコーエプソン㈱	1	1	1
90 ㈱デンソー	1	1	1
91 東京エレクトロン㈱	1	1	1
92 ㈱東芝	1	1	1
93 東芝三菱電機産業システム㈱	1	1	1
94 富士ゼロックス㈱	1	1	1
95 富士通㈱	1	1	1
96 ㈱堀場製作所	3	3	3
97 三菱電機㈱	1	1	1
製造(輸送用機械)			
98 ㈱愛三工業	1	1	1
99 アイシン・エイ・ダブリュ㈱	1	1	1
100 ㈱アドヴィックス	1	1	1
101 尾張精機㈱	1	1	1
102 川崎重工業㈱	1	1	1
103 三恵工業㈱	1	1	1
104 トヨタ紡織㈱	1	1	1
105 ㈱トランテックス	1	1	1
106 日産自動車㈱	1	1	1
107 フタバ産業㈱	1	1	1
108 ㈱マキタ	1	1	1
その他製造			
109 アイリスオーヤマ㈱	1	1	1
110 ㈱アシックス	1	1	1
111 石塚硝子㈱	1	1	1
112 ㈱イトーキ	2	1	1
113 ㈱内田洋行	1	1	1

平成29年度就職状況

〔経済学部〕

平成30年5月1日現在

○進路別内訳

	計	男子	女子
卒業生	546	372	174
進学者			
大学院	8	6	2
大学学部等	0	0	0
専修学校等	1	1	0
就職者			
企業就職	466	313	153
公務員	52	40	12
その他	19	12	7

進学先・就職先一覧

○進路先内訳

進路先	計	男	女
大学院進学			
1 京都大学大学院経済学研究科	2	2	0
2 国立成功大学大学院政治経済研究科	1	0	1
3 滋賀大学大学院経済学研究科	5	4	1
専修学校入学			
4 名古屋トヨタ自動車大学校	1	1	0

○就職先内訳(産業別・業種別)

会社名	計	男	女
鉱業、採石業			
1 JFEMネラル㈱	1	1	1
建設業			
2 朝日エディック㈱	1	1	1
3 旭化成ホームズ㈱	1	1	1
4 ㈱一条工務店	1	1	1
5 鹿島建設㈱	1	1	1
6 クラボウブランドシステム㈱	1	1	1
7 サンエイ㈱	1	1	1
8 新興プランテック㈱	1	1	1
9 積水ハウス㈱	2	1	1
10 ㈱銭高組	1	1	1
11 ダイキンエアテクノ㈱	1	1	1
12 大日本土木㈱	1	1	1
13 ㈱竹中工務店	1	1	1
14 千代田化工建設㈱	1	1	1
15 トヨタホーム㈱	1	1	1
16 ㈱フジ・ホーム	1	1	1
17 ㈱リブライズ	1	1	1
製造(食料・飲料等)			
18 キュービー㈱	1	1	1
19 サントリーホールディングス㈱	1	1	1
20 日本甜菜製糖㈱	1	1	1
21 丸大食品㈱	1	1	1
22 山崎製パン㈱	1	1	1
製造(繊維工業)			
23 綾羽㈱	1	1	1
24 帝人㈱	1	1	1
製造(印刷・同関連業)			
25 NISSHA㈱	1	1	1
製造(化学・石油等製品)			
26 ㈱アイビー化粧品	1	1	1
27 あすか製菓㈱	1	1	1
28 あゆみ製菓㈱	1	1	1
29 ㈱池田模範堂	1	1	1
30 エーザイ㈱	1	1	1
31 エステー㈱	1	1	1
32 小野薬品工業㈱	1	1	1
33 関西ペイント㈱	1	1	1
34 サンスター㈱	1	1	1
35 ㈱JSP	1	1	1
36 塩野義製薬㈱	1	1	1
37 住友理工㈱	2	2	2
38 積水化学工業㈱	1	1	1
39 ゼリア新薬工業㈱	1	1	1
40 セントラル硝子㈱	1	1	1
41 田辺三菱製薬㈱	1	1	1

	会社名	計	男	女
336	株DMM.com	1	1	
	学校教育			
337	(学)関西学院	1	1	
338	(国)滋賀大学	3	3	
339	京都府立城陽高等学校	1	1	
340	長浜市立伊香具小学校	1	1	
	その他教育			
341	株栄光	1	1	
342	株ケーイーシー	1	1	
343	株ヒューマレッジ	1	1	
	医療・保健			
344	京都第一赤十字病院	1	1	
345	京都中部医療総合センター	1	1	
	社会保険・福祉			
346	全国健康保険協会	1	1	
347	日本年金機構	1	1	
348	(社)八起会	1	1	
	複合サービス			
349	JAMキノ町農業協同組合	1	1	
350	日本郵便株	1	1	
	その他サービス			
351	株アウトソーシングテクノロジー	2	2	
352	株インテリジェンスオフィス	1	1	
353	株ATビジネス	1	1	
354	株エンカレッジ	1	1	
355	株オアシスソリューション	1	1	
356	公益社団法人 関西経済連合会	1	1	
357	(独)国際協力機構(JICA)	1	1	
358	ジャパンマテリアル株	1	1	
359	デイツ株	1	1	
360	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	1	1	
361	公益財団法人 長浜文化スポーツ振興事業団	1	1	
362	日総工産株	2	2	
363	パーソナルキャリア株	1	1	
364	ビーモーション株	1	1	
365	(独)水資源機構	2	1	1
366	三原市役所 地域おこし協力隊	1	1	
367	明治用水土地改良区	1	1	
368	株リログループ	1	1	
369	株レックスアドバイザーズ	1	1	
370	レバレッジズキャリア株	1	1	
	国家公務			
371	愛知労働局	1	1	
372	大阪国税局	2	2	
373	岐阜労働局	1	1	
374	財務省財務局	1	1	
375	財務省東海財務局	1	1	
376	滋賀労働局	1	1	
377	東京国税局	1	1	
378	名古屋国税局	3	1	2
379	広島国税局	1	1	
380	JAFDF・防衛省航空自衛隊	1	1	
381	北陸農政局	1	1	
382	厚生労働省労働基準監督官	1	1	
	地方公務			
383	愛西市役所	1	1	
384	愛知県庁	6	6	
385	一宮市役所	1	1	
386	稲沢市役所	1	1	
387	茨木市役所	1	1	
388	大阪府警察	1	1	
389	大津市役所	1	1	
390	岐阜県警察	1	1	
391	岐阜県庁	2	2	
392	京都市役所	1	1	
393	京都府庁	1	1	
394	京都府市町村職員共済組合	1	1	
395	湖南省役所	1	1	
396	滋賀県警察	2	2	
397	滋賀県庁	7	5	2
398	静岡県庁	1	1	
399	東京都江戸川区	1	1	
400	土岐市役所	1	1	
401	南丹市役所	1	1	
402	飛騨市役所	1	1	
403	三重県庁	1	1	
404	三木市役所	1	1	
405	本巢市役所	1	1	
406	八街市役所	1	1	

	会社名	計	男	女
265	京都中央信用金庫	2	2	
266	東海労働金庫	1	1	
267	長浜信用金庫	1	1	
268	姫路信用金庫	1	1	
269	兵庫信用金庫	1	1	
270	福井信用金庫	1	1	
	金融(証券)			
271	いちよし証券株	1	1	
272	岩井コスモ証券株	1	1	
273	SMBC日興証券株	1	1	
274	岡三証券株	2	1	1
275	大和証券株	3	1	2
276	東海東京証券株	1	1	
277	野村証券株	2	1	1
278	廣田証券株	1	1	
279	みずほ証券株	5	4	1
280	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株	1	1	
	金融(その他)			
281	NTTファイナンス株	1	1	
282	株オリエントコーポレーション	1	1	
283	オリックス株	1	1	
284	株クボタクレジット	1	1	
285	株クレディセゾン	1	1	
286	株ジャックス	1	1	
287	トヨタファイナンス株	2	2	
288	株日本政策金融公庫	6	5	1
289	三井住友カード株	1	1	
290	三菱UFJ国際投信株	1	1	
291	三菱UFJニコス株	2	1	1
292	楽天カード株	1	1	
	保険業			
293	あいおいニッセイ同和損害保険株	1	1	
294	朝日生命保険(相)	1	1	
295	アメリカンファミリー保険会社	1	1	
296	株かんぽ生命保険	2	2	
297	共栄火災海上保険株	1	1	
298	(独)勤労者退職金共済機構	1	1	
299	住友生命保険(相)	4	2	2
300	全国労働者共済生活協同組合連合会	1	1	
301	損害保険ジャパン日本興亜株	2	1	1
302	太陽生命保険株	1	1	
303	チューリッヒ保険会社	1	1	
304	東京海上日動火災保険株	7	1	6
305	日新火災海上保険株	1	1	
306	日本生命保険(相)	4	2	2
307	東日本建設業保証株	1	1	
308	株フィナンシャル・エージェンシー	1	1	
309	三井住友海上火災保険株	1	1	
310	三井生命保険株	1	1	
	不動産・賃貸業			
311	株青山財産ネットワークス	1	1	
312	東急リパブル株	1	1	
313	株長谷工コミュニティ	1	1	
314	三井不動産リアルティ株	2	2	
315	三井不動産レジデンシャルサービス関西株	1	1	
316	三菱地所レジデンス株	1	1	
	物品賃貸業			
317	オリックス自動車株	1	1	
318	株東海リース	1	1	
319	三菱UFJリース株	1	1	
	その他専門・技術			
320	グレイステクノロジー株	1	1	
321	株ケシオン	1	1	
322	株ケセラセラ	1	1	
323	税理士法人 ジェイエスケー	1	1	
324	新日本有限責任監査法人	1	1	
325	税理士法人 TACT高井法博会計事務所	1	1	
326	株電通テック	1	1	
327	税理士法人 名南経営	1	1	
328	日本アイ・ビー・エム・サービス株	1	1	
329	株船井総合研究所	1	1	
330	株マーシュ	1	1	
331	株マイナビ	1	1	
	宿泊・飲食			
332	株京都ホテル	1	1	
333	スターバックス コーヒー ジャパン 株	1	1	
	生活関連サービス			
334	(有)アイムインターナショナル	1	1	
335	株JTB	1	1	

	会社名	計	男	女
189	エプソン販売株	1	1	
190	オンワード商事株	1	1	
191	株カイタックホールディングス	1	1	
192	株カナデン	1	1	
193	KISCO株	1	1	
194	岐阜商事株	1	1	
195	株合食	1	1	
196	興和創薬株	1	1	
197	三洋商事株	1	1	
198	株GSIクレオス	1	1	
199	株滋賀原木	1	1	
200	STYLEM 株	1	1	
201	住友商事株	2	1	1
202	双日株	1	1	
203	東洋ハイテック株	1	1	
204	トラスコ中山株	3	1	2
205	ナブコア株	1	1	
206	日鉄住金物産株	1	1	
207	株日本アクセス	1	1	
208	日本機材株	1	1	
209	不二鋳材株	1	1	
210	富士貿易株	1	1	
211	松村株	1	1	
212	名鉄協商株	1	1	
213	株山一ハガネ	1	1	
214	ヤマウチ株	1	1	
215	株ラクトジャパン	1	1	
216	リーフェナジー株	1	1	
	小売業			
217	アルビス株	1	1	
218	イオンモール株	2	1	1
219	イオンリテール株	1	1	
220	株一真堂書店	1	1	
221	株エーツ	1	1	
222	MXモバイルング株	1	1	
223	株オークワ	1	1	
224	株金沢金鉄丸越百貨店	1	1	
225	株サンドラッグ	1	1	
226	株JR西日本デパートサービスネット	1	1	
227	株セブン-イレブン・ジャパン	1	1	
228	株タカキフードパートナーズ	1	1	
229	株高島屋	1	1	
230	株DROPS	1	1	
231	株ニトリ	1	1	
232	株ネクステージ	1	1	
233	ファクトリーギア株	1	1	
234	株平和堂	5	3	2
235	株マツヤデンキ	1	1	
236	株メガネット	1	1	
237	株ヤマダ電機	1	1	
238	株ユニー	1	1	
239	ローソン	1	1	
	金融(銀行)			
240	株SMBC信託銀行	1	1	
241	株大垣共立銀行	4	4	
242	株関西アーバン銀行	2	1	1
243	株京都銀行	7	4	3
244	株滋賀銀行	7	2	5
245	株静岡銀行	1	1	
246	株清水銀行	2	1	1
247	株十六銀行	6	4	2
248	株スルガ銀行	1	1	
249	株鳥取銀行	1	1	
250	株名古屋銀行	3	3	
251	株南都銀行	1	1	
252	株西日本シティ銀行	1	1	
253	株百五銀行	3	3	
254	株百十四銀行	1	1	
255	株広島銀行	1	1	
256	株北陸銀行	1	1	
257	株みずほフィナンシャルグループ	2	2	
258	株三菱UFJ銀行	3	2	1
259	三菱UFJ信託銀行株	1	1	
260	株宮崎銀行	1	1	
261	株ゆうちょ銀行	4	2	2
	金融(協同組織)			
262	愛知県信用農業協同組合連合会	2	2	
263	尼崎信用金庫	1	1	
264	大垣西濃信用金庫	1	1	

後援会資格取得等報奨
制度について

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、データサイエンス学部設置（平成29年4月）に伴い既設制度の対象試験等について一部改正をしたものであります。日頃の学生諸君の勉学等を支援し、資質の向上を目的とするもので、サポート対象基準を満たすことによりその功績を称え報奨金を給付するものであります。

平成26年度から運用し、130件に対して給付されました。学生からは、「ステップアップのための資金としたい。」との頼もしい発言があり、今後も、多くの学生諸君から応募していただけるよう願っています。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ご覧いただいた上で、お子様にお伝えいただきたく存じます。

今後、より良き制度に改善して行きたいと考えておりますので、会員の皆さまからも是非ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務係

TEL 0749-27-1030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

1. 趣旨

この制度は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。

2. ガイドライン

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。

なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基準	報奨額 (上限)
資格・認定試験	1. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	80,000円
		②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	50,000円
	2. 公認会計士試験	「短答式試験」合格者	100,000円
	3. 日商簿記検定試験	「一級」合格者	50,000円
	4. 証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000円
		「第2次レベル試験」合格者	40,000円
	5. データベーススペシャリスト試験	合格者	50,000円
6. 品質管理検定	「一級」合格者	50,000円	
7. 統計検定「一級」	「統計数理」、「統計応用」のいずれか1科目合格者	50,000円	
語学試験	8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000円
留学	9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成26年4月1日以降出発者)	アジア圏	40,000円
		その他	80,000円
その他	10. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～8に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

注) ①「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。

②「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。

③編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。

④対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科の正規の課程に在籍する学生で（休学中を含む。）在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日までに後援会費を未納の場合は対象としない。

⑤報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。

⑥本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

4月4日(水)入学式後に開催されました経済学部・データサイエンス学部後援会総会には、多数の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

総会では、戸田後援会会長、田中経済学部長、竹村データサイエンス学部長の挨拶、平成29年度決算及び30年度予算案の審議、新委員の選出があり、続いて、両学部長から学部の現況等について報告がありました。総会で承認されました平成29年度決算及び30年度予算について、出席いただけなかった会員の皆様に、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。

平成29年度 経済学部後援会収支報告

収入 (単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	1,118,997	
会費(学部新入生)	10,926,000	607人×@18,000
会費(編入生)	198,000	22人×@9,000
会費(大学院新入生)	207,000	23人×@9,000
教育情報充実費残	1,065,476	
利息	65	
収入合計	13,515,538	



後援会総会

支出 (単位：円)

科目	予算額	決算額	過不足額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	2,954,196	5,804	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	1,305,182	14,818	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	51,000	19,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	1,700,000	1,561,376	138,624	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	800,000	800,000	0	合同企業説明会等参加経費、OB懇談会経費
⑥団体分担金	240,000	333,404	-93,404	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	480,000	480,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	290,000	247,412	42,588	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	500,000	456,605	43,395	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	400,000	299,438	100,562	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	18,600	11,400	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	100,000	0	留学生後援会援助
⑬資格取得等報奨金	1,888,500	1,888,500	0	資格取得等報奨金
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮予備費	2,637,038	208,468	2,428,570	退会に伴う返金等
支出合計	13,515,538	10,804,181	2,711,357	

平成29年度 図書充実費収支報告

収入 (単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	539,995	
会費(学部新入生)	607,000	607人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	11,500	23人×@500
利息	7	
収入合計	1,169,502	

支出 (単位：円)

科目	決算額	備考
図書購入費等	663,338	
次年度繰越額	506,164	
支出合計	1,169,502	

平成29年度 体育充実費収支報告

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	278,605	
会費(学部新入生)	607,000	607人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	11,500	23人×@500
利息	5	
収入合計	908,110	

支出

科目	決算額	備考
近国体分担金	259,000	
ゴルフ実習費	81,000	
スキー教室経費	197,645	
次年度繰越額	370,465	
支出合計	908,110	

平成29年度 資格取得等報奨金収支報告

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	1,861,520	
会費(学部新入生)	1,821,000	607人×@3,000
会費(編入生)	33,000	22人×@1,500
会費(大学院新入生)	34,500	23人×@1,500
利息	21	
収入合計	3,750,041	

支出

科目	決算額	備考
支出額	1,861,520	
次年度繰越額	1,888,521	
支出合計	3,750,041	

平成30年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

科目	予算額	備考
前年度繰越額	2,711,357	
会費(学部新入生)	12,926,000	562人×@23,000
会費(編入生)	149,500	13人×@11,500
会費(大学院新入生)	126,500	11人×@11,500
利息	100	
収入合計	15,913,457	



支出

(単位:円)

後援会だより編集委員会

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係諸経費補助	3,500,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	260,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	留学生後援会援助金
⑬資格取得等報奨金	1,722,000	資格取得等報奨金
⑭経済学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮情報教育充実費	1,000,000	
⑯予備費	2,351,457	
支出合計	15,913,457	

平成30年度 図書充実費予算

収入

科目	予算額	備考
前年度繰越額	506,164	
会費(学部新入生)	562,000	562人×@1,000
会費(編入生)	6,500	13人×@500
会費(大学院新入生)	5,500	11人×@500
利息	10	
収入合計	1,080,174	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
図書購入費等	600,000	
予備費	480,174	
支出合計	1,080,174	

平成30年度 体育充実費予算

収入

科目	予算額	備考
前年度繰越額	370,465	
会費(学部新入生)	562,000	562人×@1,000
会費(編入生)	6,500	13人×@500
会費(大学院新入生)	5,500	11人×@500
利息	10	
収入合計	944,475	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
近国体分担金	300,000	
ゴルフ実習費	100,000	
スキー教室経費	200,000	
予備費	344,475	
支出合計	944,475	

平成30年度 資格取得等報奨金予算

収入

科目	予算額	備考
前年度繰越額	1,888,521	
会費(学部新入生)	1,686,000	562人×@3,000
会費(編入生)	19,500	13人×@1,500
会費(大学院新入生)	16,500	11人×@1,500
利息	20	
収入合計	3,610,541	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
資格取得等報奨金(H29)	1,888,521	
次年度繰越予定額 資格取得等報奨金(H30)	1,722,020	
支出合計	3,610,541	

平成30年度 後援会役員名簿

会長	戸田 茂	幹事	西尾 修治	委員	尾上志津夫
副会長	伊藤 正之	監事	辰村ひろ子	委員	鶴田 千春
副会長	前田 雄治	監事	大橋 瑞樹	委員	草野 紀子
幹事	伏木 和禎	委員	大橋 良英	委員	寺横 豊重
幹事	中村きよみ	委員	山本 浩史	委員	堀部 千夏
幹事	横幕 栄子	委員	山本真由美	委員	和田 恵美
幹事	中村まゆみ	委員	横幕智代美		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧いただけます。

<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

会員の皆様の記事についての感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対する要望、ご意見等を郵送又はFAXでお聞かせください。

〒522-8522 彦根市馬場一丁目1-1

FAX 0749-27-1132

平成30年度 学年暦・主要な行事 (予定)

《春学期》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	22(木)	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
	4(水)	入学式(びわ湖ホール)		新入生オリエンテーション(キャンパスライオン講習会)
4	6(金)	新入生オリエンテーション 大学院博士後期課程は4/7(土)		開学祭
	9(月)	春学期授業開始 大学院博士後期課程は4/14(土)		近畿地区国立大学体育大会 新入生歓迎マラソン
	14(土)			開学記念日
5	初旬 ~ 12月中旬		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)	
	13(日)			滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式
	26(土)	TOEIC-IP試験 (2018年度・2016年度入学生(原則主)全員、その他希望者)		
	31(木)		第1回就職ガイダンス(3回生)	ボランティア・キャンパ
	下旬		第2回就職ガイダンス(3回生)	第53回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦
6	2(土)	成績優秀者表彰式		
	中旬		自己分析セミナー	
	9(土) ~ 10(日)			
	16(土) ~ 17(日)			
	下旬	補講日		
	7(土)			
	上旬			
	14(土)	授業日(木曜日の授業)		
7	16(月) 海の日	授業日		
	21(土)	授業日(金曜日の授業)		
	21(土)	春学期授業終了		
	23(月)	~ 8/3(金) 春学期試験(予備日を含む)		
	上旬 ~ 下旬			韓国語・文化研修(啓明大学)
	5(日) ~ 27(月)			イギリス研修(リーストリニティ大学)
8	6(月) ~ 9/30(日)	夏季休業、集中講義		
	25(土) ~ 9/23(日)			アメリカ語学研修(ミシガン州立大学)
	下旬 ~ 9月中旬			タイ・エコースタデイツー(泰日工業大学、チェンマイ大学)
	2(日) ~ 17(月)			フランス語学・文化研修(西部カトリック大学)
9	中旬			SFA(学生・教員協議会)
	下旬	成績発表(サクセス(Web)で確認)		

(注) 変更される場合があります。

これらに関するご質問は、こちらへお問い合わせください

○授業・休学・退学に関するご質問
学務課教授係(学部)
0749-27-1031(ダイヤルイン)

○学生生活・クラブ活動等に関するご質問
学生支援課学生支援係
0749-27-7530(ダイヤルイン)

○就職・進学に関するご質問
学生支援課就職係
0749-27-1021(ダイヤルイン)

○留学に関するご質問
学術国際課留学生係
0749-27-1172(ダイヤルイン)

○学務課大学院係(大学院)
0749-27-1032(ダイヤルイン)

○授業料免除・奨学金に関するご質問
学生支援課学生支援係
0749-27-7530(ダイヤルイン)

○就職支援
0749-27-1033(ダイヤルイン)

障がい学生支援室
0749-27-8166(ダイヤルイン)

大学のホームページ



滋賀大学のホームページ
<http://www.shiga-u.ac.jp/>

在学生・保護者の方

通知を見る(休講・補講等)
就職・資格について調べる(取得できる資格等)
滋賀県と滋賀大学を知る(滋賀の情報とマップ等)

学習について調べる(学年暦等)
大学生活を調べる(住居・課外活動・アルバイト等)
大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)

《 秋学期 》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(月) 上旬	秋学期授業開始 大学院博士後期課程D2研究報告会(11月上旬までの間)	SP対策講座	TOEFL対策講座(全9回)
	8(月) 体育の日	授業日		
	13(土) 中旬	大学院博士後期課程D3中間研究報告会	第3回就職ガイダンス(3回生)	定例学生総会、体育総会、文芸連総会 学内ゼミナール大会
	27(土) 中旬	授業日(金曜日の授業)		権本杯争奪駅伝大会 大学祭
11	2(金) 3(土) ~	4(日)		
	25(日) 下旬	統計検定(2017年度DS学部入学者全員、その他希望者)	第4回就職ガイダンス(3回生) 陵水会計人会による学生説明会・懇談会(3回生)	
12	1(土) ~	2(日)		リーダーズトレーニング
	上旬		3回生就職希望者の個別進路相談(3回生)	
	中旬		第5回就職ガイダンス(3回生)	
	中旬		第6回就職ガイダンス(3回生)	
	24(月) ~	1/3(木)	第40回 陵水懇話会(3回生) 第7回就職ガイダンス(3回生)	
1	7(月) 上旬	授業再開	若手卒業生による就活相談会	
	上旬		第8回就職ガイダンス(3回生)	
	12(土) 中旬	補講日		
	18(金) ~	20(日)	休講及び入構禁止(大学入試センター試験準備及び試験)	
	26(土) 28(月)	29(火)	補講日 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日を含む。)	女子学生のための陵水キャリアガイダンス(3回生)
2	中旬			
	中旬 ~	3月中旬		オーストラリア研究(デューキン大学)
	下旬 ~	3月上旬		メキシコ語学文化研修(ヴァリアント大学)
3	22(金) ~	28(火)		SFA(学生・教員協議会)
	11(月) 26(火)	12(火)	入構禁止(前期日程入学試験準備及び試験) 入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験) 卒業式(ひこね市文化プラザ)	中国語研修(東北財経大学) 卒業祝賀会

(注) 変更される場合があります。